

資料編

新たな総合戦略のための幸福度・暮らしやすさ調査結果

〈目次〉

1. LINE アンケート	1
(1) 調査概要	1
(2) 調査結果	2
I あなた自身について.....	2
II 幸福度・満足度.....	3
III 暮らしやすさ.....	5
IV 田村市の人口減少対策について.....	7
V Well-being 主観指標・客観指標比較	8
2. 中学生アンケート	9
(1) 調査概要	9
(2) 調査結果	10
I あなた自身について.....	10
II 田村市について.....	12

1. LINE アンケート

(1) 調査概要

調査目的	市民の幸福度を計測する「Well-Being 指標」を活用し、本市の総合戦略の効果を測るために、本調査を実施する。
調査手法	市の公式 LINE アカウントを活用し、調査への協力を依頼する
対象者	市の公式 LINE アカウントを友達登録している方（ブロックしている方を除く）
調査期間	約 2 週間（土日を 2 回挟むことを想定） 令和 6 年 9 月 4 日（水）～9 月 18 日（水）
回答方法	以下の URL より、WEB 回答 https://questant.jp/q/tamura01
回収票数	335 票

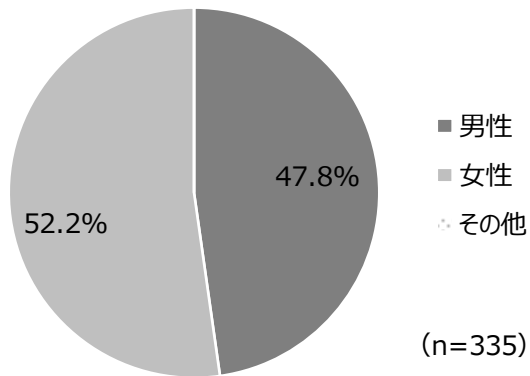
■ LINE での発信イメージ



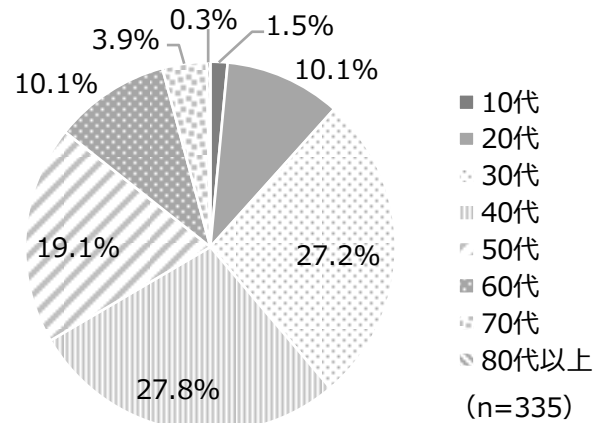
(2) 調査結果

I あなた自身について

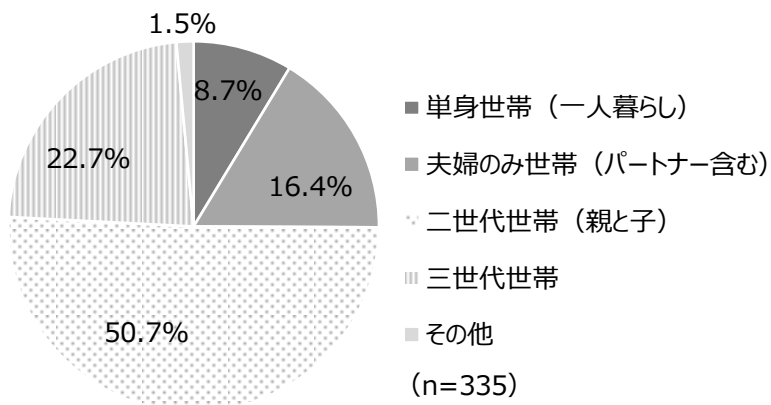
Q1.あなたの性別は？(全員回答)



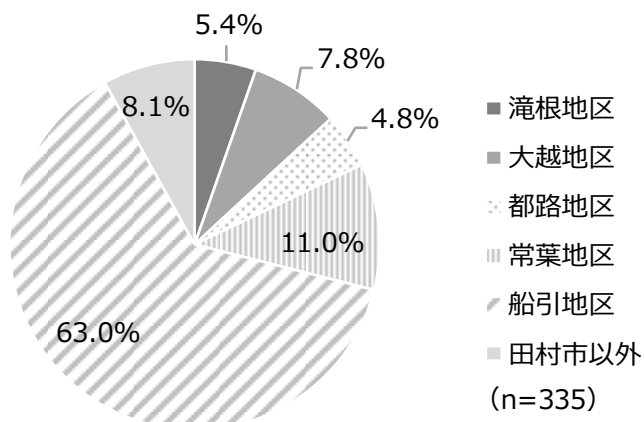
Q2. あなたの年齢は？(全員回答)



Q3. あなたの家族構成は？(全員回答)

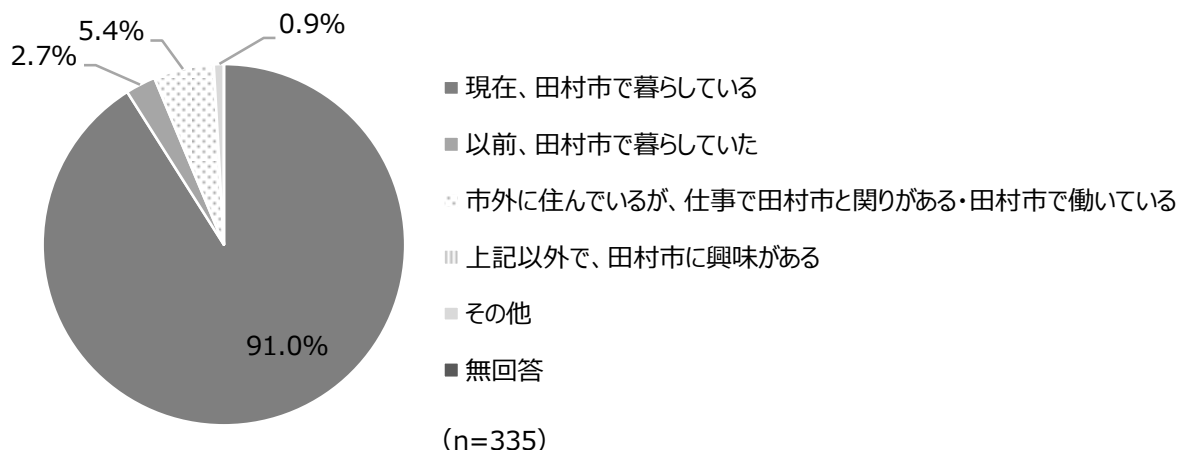


Q4. あなたの居住地は？(全員回答)



Q5. あなたと田村市との関係は？(全員回答)

回答者の約 9 割が市民、約 1 割が市外の方。



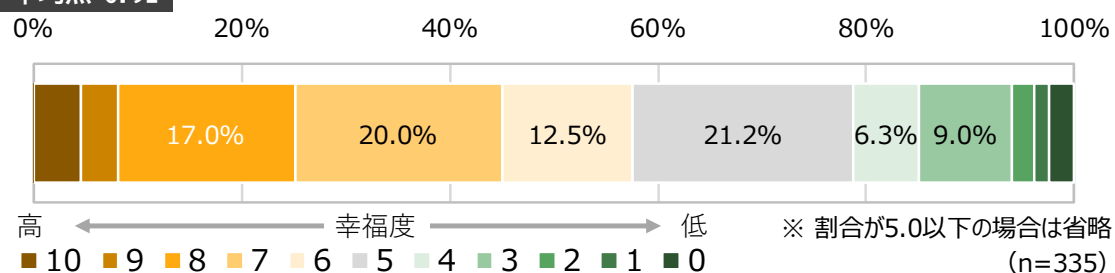
II 幸福度・満足度

Q6. 現在、あなたはどの程度幸せですか？(全員回答)

現在の幸福度は比較的幸せと感じる方が多く、平均点は 5.92 となった。

参考：令和 2 年度「第 2 次田村市総合計画策定のための市民アンケート調査」における平均点 5.48 から若干増加、平成 25 年調査の平均点 5.96 と同程度となっている。許容誤差程度。

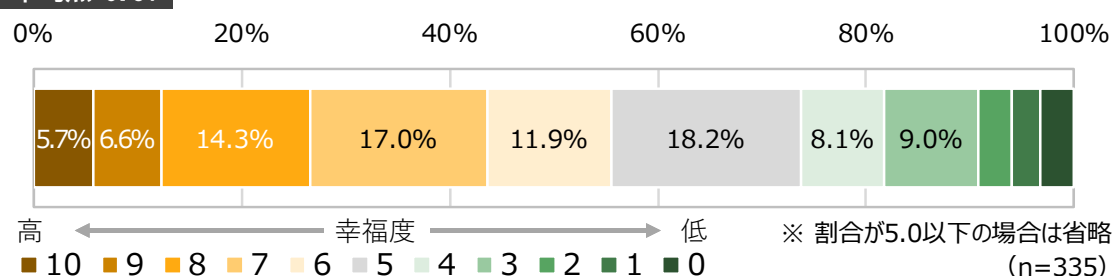
平均点 5.92



Q7. 今から 5 年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか？(全員回答)

5 年後の幸福度も比較的幸せと感じる方が多い反面、平均点は 5.81 と若干下がっていることから、将来への不安を感じている方がいると予測される。

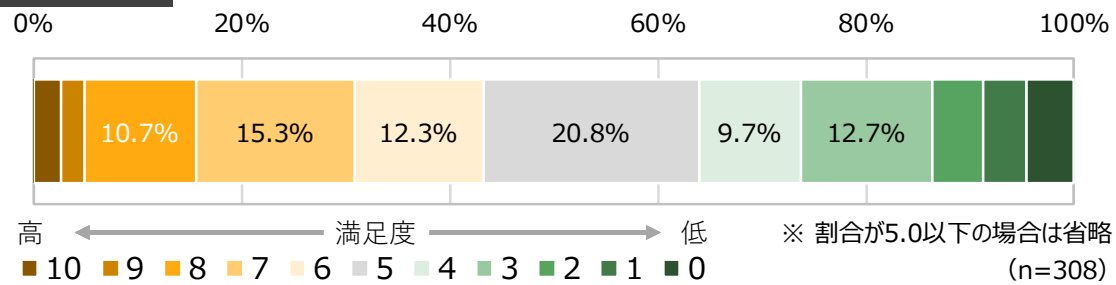
平均点 5.81



Q8. 田村市での暮らしにどの程度満足していますか？(市民のみ回答)

暮らしの満足度は比較的満足と感じる方が多いものの、平均点は 5.08 とほぼ中間となった。

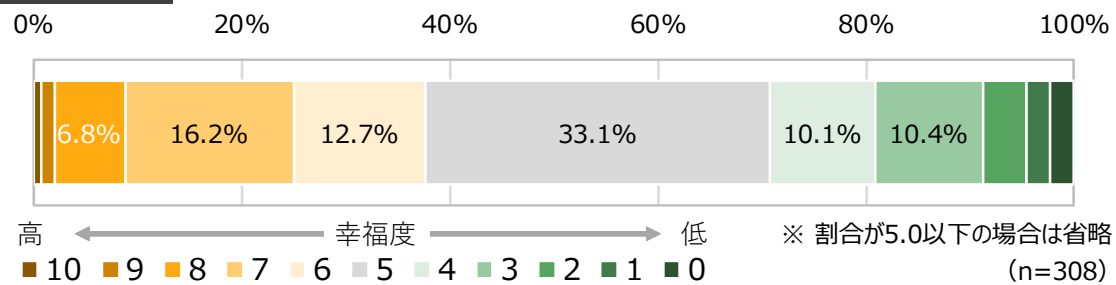
平均点 5.08



Q9. あなたが暮らす行政区内の人々は、どれくらい幸せだと思いますか？ 自分の同居家族は除いて考えてください。(市民のみ回答)

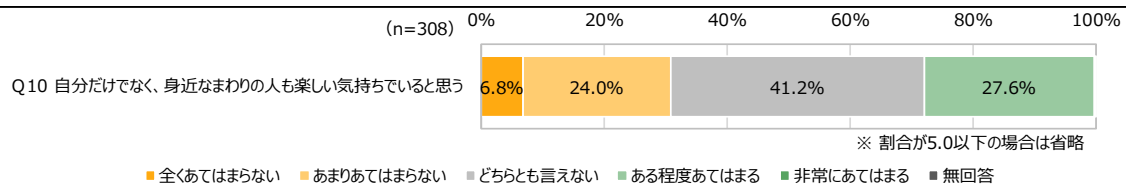
行政区内の人々の幸福度は比較的幸せと感じる方が多いものの、平均点は 5.10 とほぼ中間となった。

平均点 5.10



Q10. 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う(市民のみ回答)

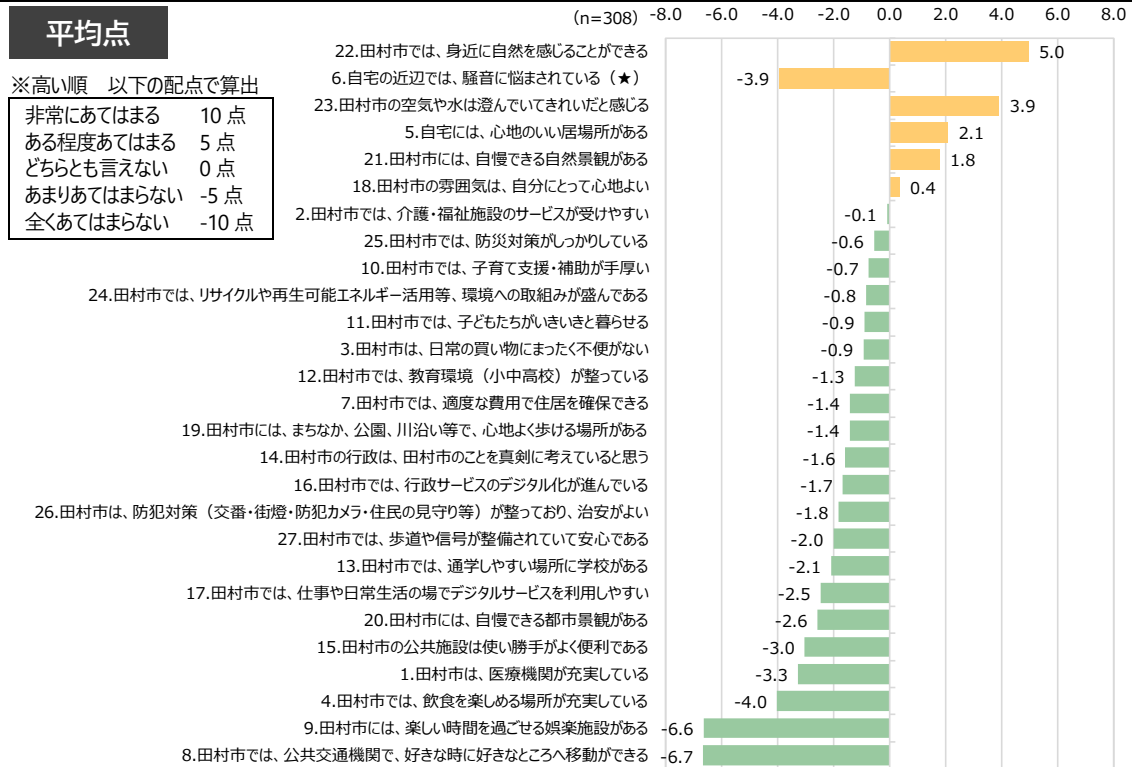
身近な人も楽しい気持ちでいると思う方がやや多い傾向。



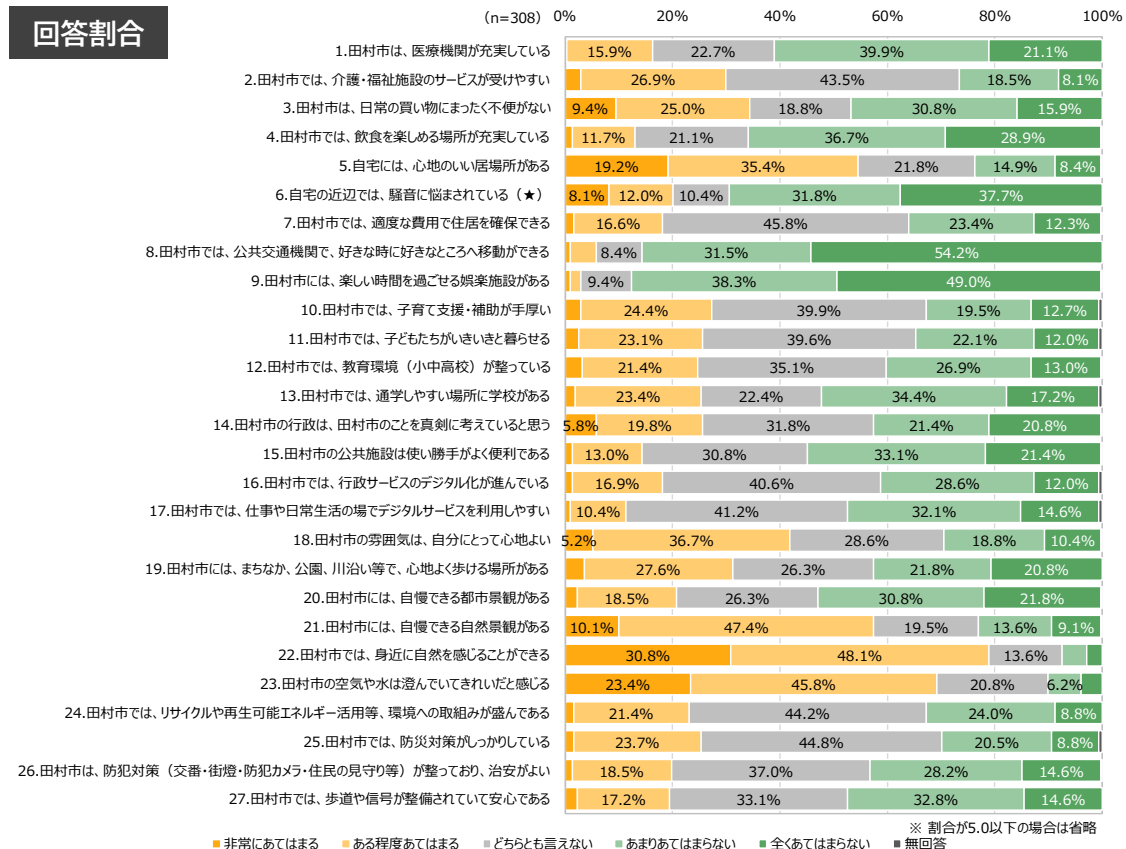
Ⅲ 暮らしやすさ

Q11. 生活環境について(市民のみ回答)

豊かな自然環境で心地よいと感じる方が多い反面、気軽な移動や余暇を楽しむことができないと感じる方も多い。



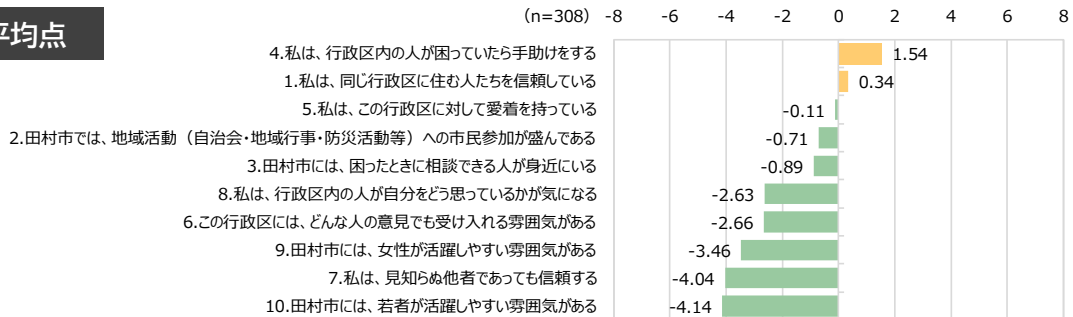
※ (★) 付の項目は、他の項目と異なり、ネガティブな内容となるため、点数が低いほど良い状態。



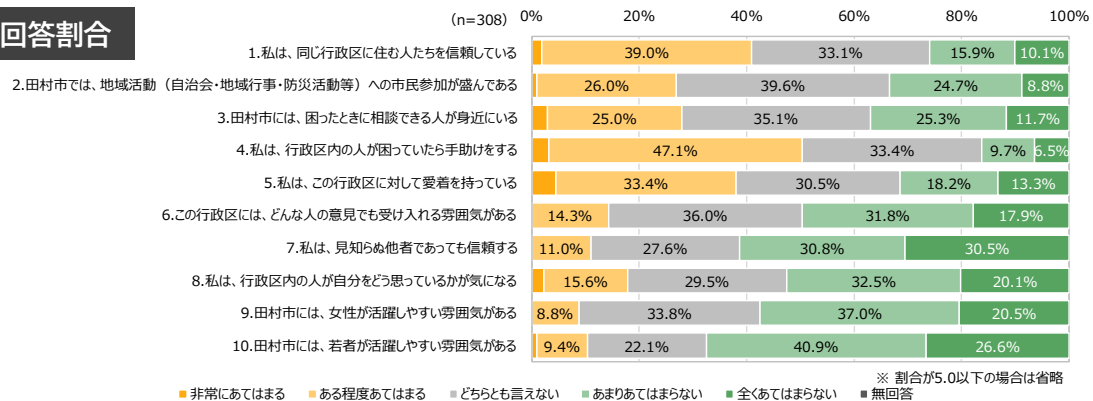
Q12. 田村市・行政区の人間関係について(市民のみ回答)

助け合いの関係性が強いと感じる方が多い反面、若者や女性等が活躍しづらい雰囲気があると感じる方も多い。

平均点



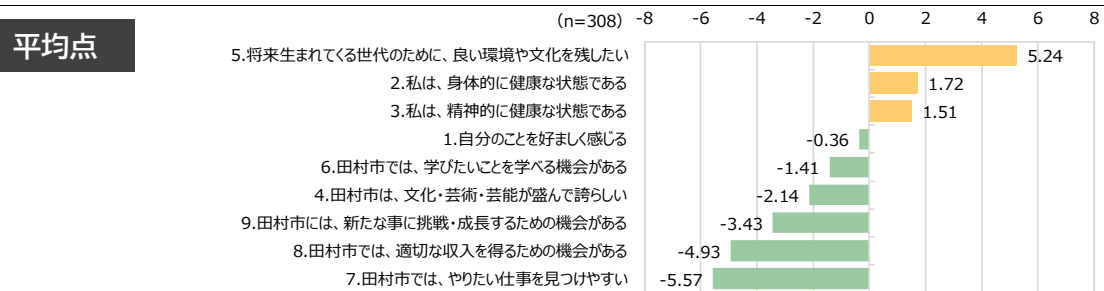
回答割合



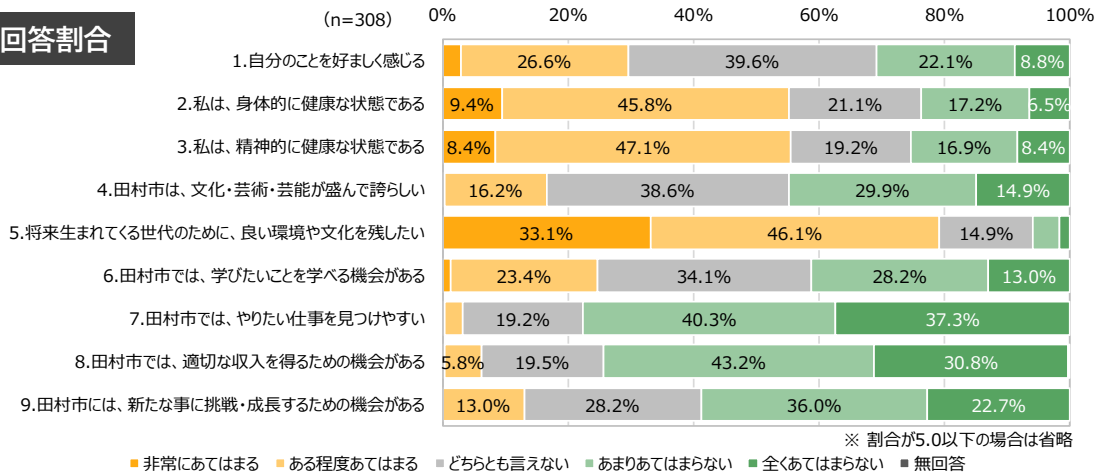
Q13. 自分らしい生き方について(市民のみ回答)

次の世代に田村市の豊かな環境や文化を継承したいと感じる方が多い反面、仕事の選択肢が少なく、適切な収入を得られないと感じる方も多い。

平均点



回答割合

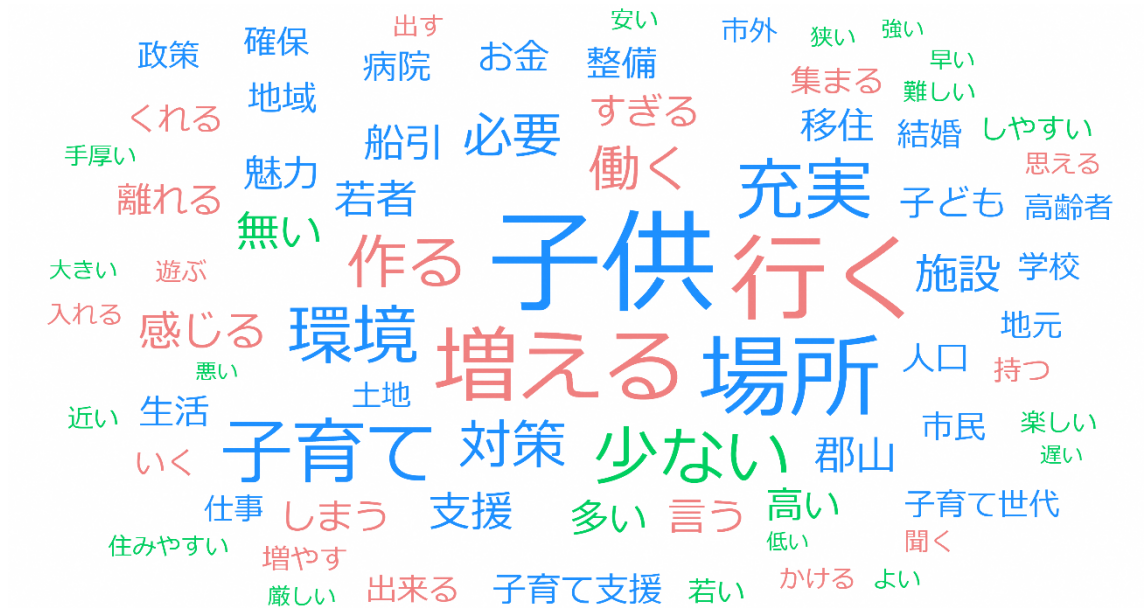


IV 田村市の人口減少対策について

Q14. 田村市の人口減少対策に関するご意見等(全員回答)

〈主な意見〉 ・婚活支援や子育て支援の充実 ・生鮮食品などの日常の買い物ができる施設の充実 ・子どもや若者、子育て世帯が利用しやすい居場所づくり（飲食店や娯楽施設、遊び場など） ・大きな病院がない ・働く場所がない。企業誘致などによる働く場の創出 など
--

- | |
|--|
| 〈主な意見〉 <ul style="list-style-type: none">・婚活支援や子育て支援の充実・生鮮食品などの日常の買い物ができる施設の充実・子どもや若者、子育て世帯が利用しやすい居場所づくり（飲食店や娯楽施設、遊び場など）・大きな病院がない・働く場所がない。企業誘致などによる働く場の創出 など |
|--|

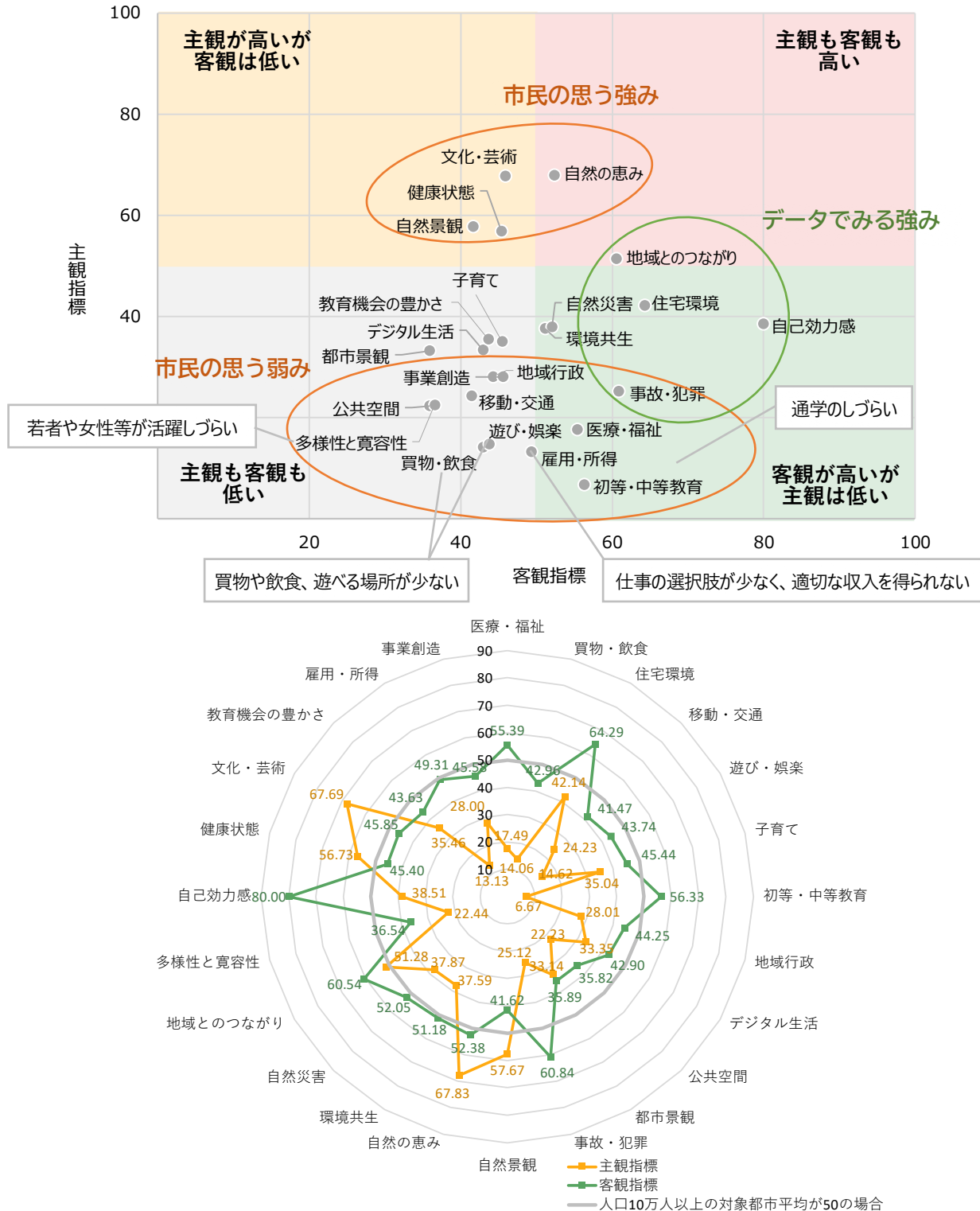


テキストマイニング結果(出現頻度順)

テキストマイニング結果(出現頻度順)

V Well-being 主観指標・客観指標比較

市民が思う強み（主観指標が高い項目）は、「自然の恵み」「文化・芸術」「自然景観」「健康状態」となっており、豊かな自然環境や文化があり、健康に暮らせるまちだと読み取れる。一方、市民が思う弱み（主観指標が低い項目）は、「初等・中等教育」「雇用・所得」「買物・飲食」「遊び・娯楽」等となっており、移動や仕事の選択肢・所得に関する課題がある。



※ 主観指標: アンケートにより把握した町民が感じている充実度や幸福度、満足度を偏差値化した数値。
 ※ 客観指標: デジタル庁が公表データをもとに指標化した数値。暮らしやすさを測定したもの。

出典: Smart City Institute Japan ホームページ (客観指標 2024 年 12 月公開)

2. 中学生アンケート

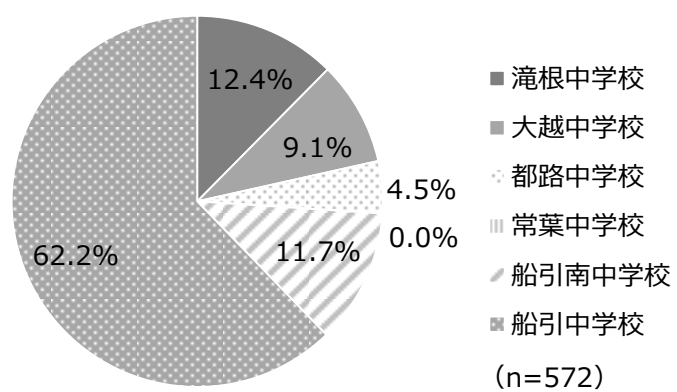
(1) 調査概要

調査目的	自身の将来の意向や、市への愛着、将来の定住意向等を把握するために、本調査を実施する。
調査手法	市立中学校を通して、中学生に調査への協力を依頼する
対象者	母集団の規模を市立中学校に通う全生徒 830 人とした場合、263 票以上の回答が望ましい。 ※信頼度 95%、許容誤差 5%の場合 以下についてご提案し、③市立中学生全員（約 830 人）を対象者とする事となった。 ①市立中学校 2 年生全員（約 280 人） ②船引中学校全員（約 430 人） ③市立中学生全員（約 830 人）
調査期間	令和 6 年 10 月頃
回答方法	調査協力依頼のプリントに記載の QR コードから WEB 回答 https://questant.jp/q/tamuraJH
回収票数	572 票（回収率約 7 割）

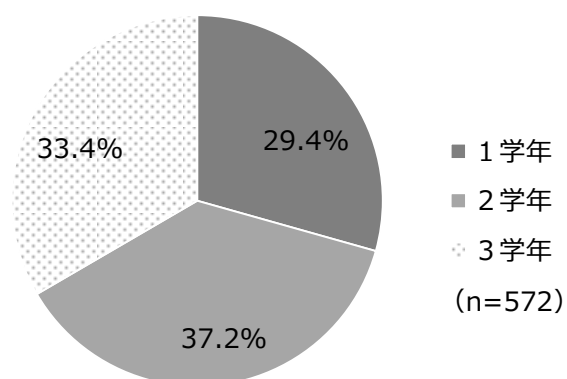
(2) 調査結果

I あなた自身について

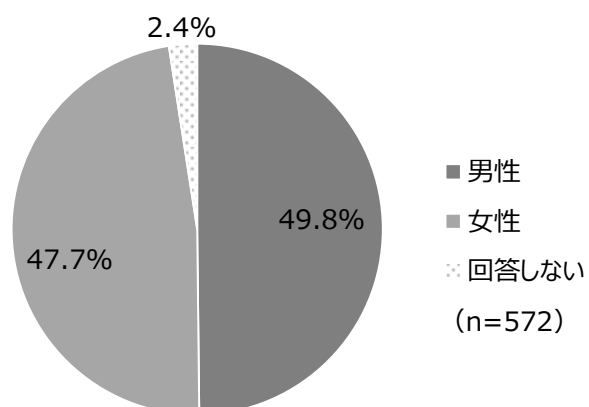
Q1.あなたの通う中学校は？(全員回答)



Q2. あなたの学年は？(全員回答)

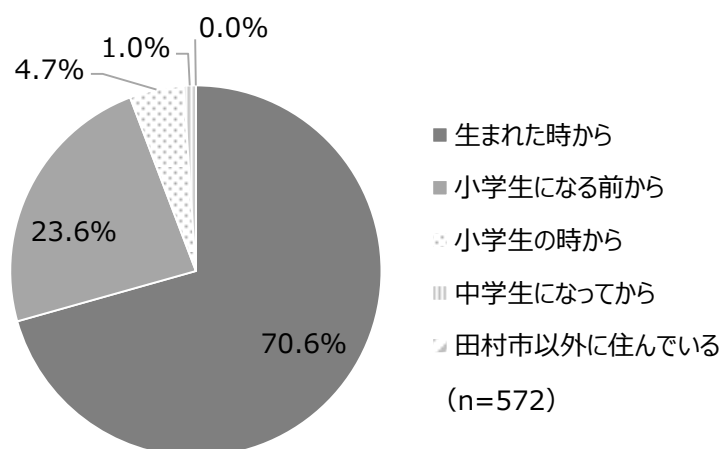


Q3. 性別を教えてください。(全員回答)



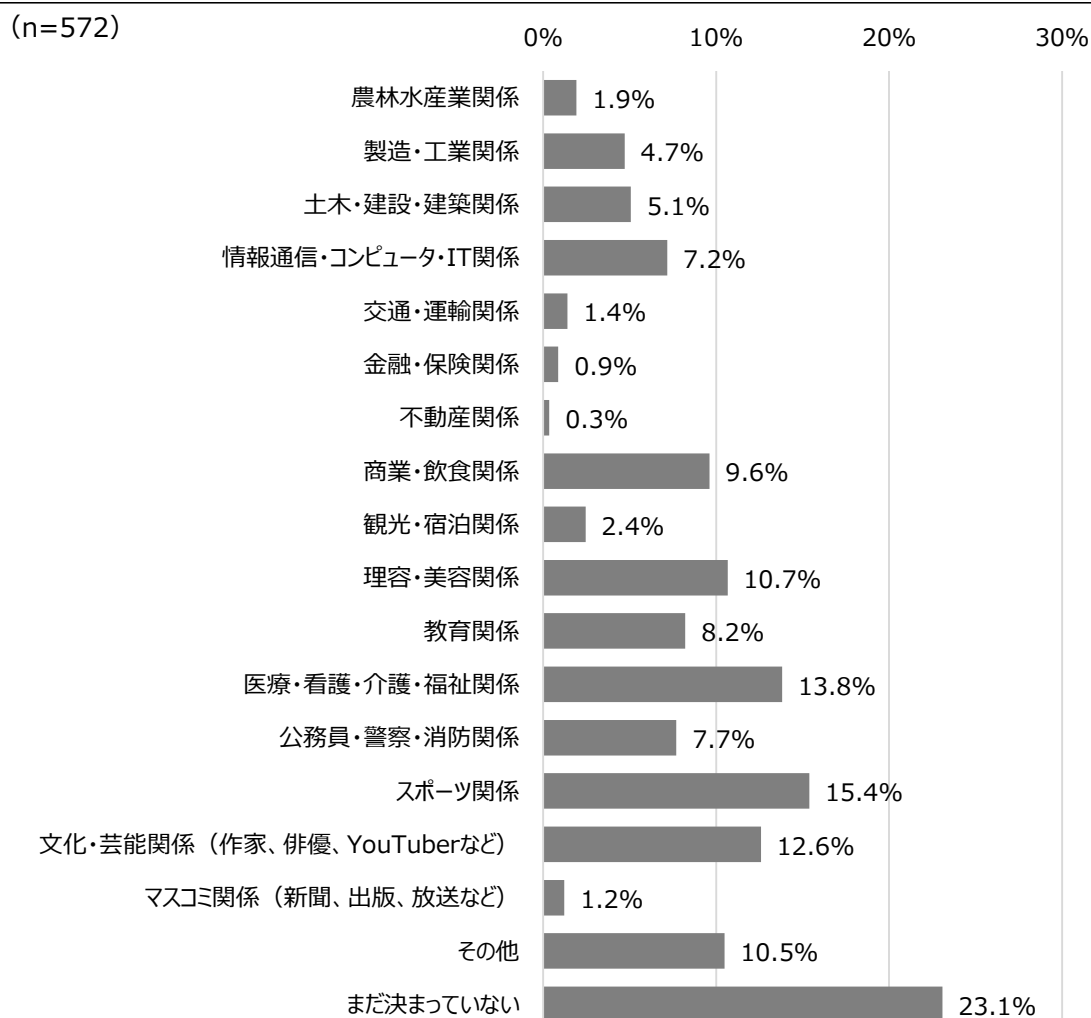
Q4. いつから田村市に住んでいますか？(全員回答)

生まれた時から田村市に居住している生徒が約 70%、小学生になる前からも含めると約 90%。



Q5. 将来どのような職業に就きたいですか？(全員回答、3つまで選択)

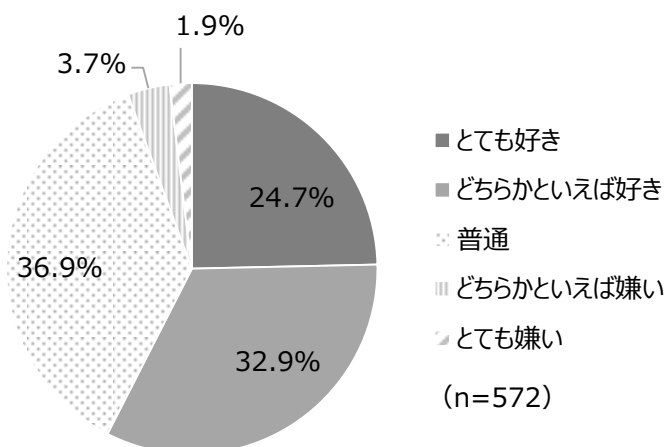
将来、「スポーツ関係」「医療・看護・介護・福祉関係」「文化・芸能関係」の職業に就きたいと思う生徒が多い。



Ⅱ 田村市について

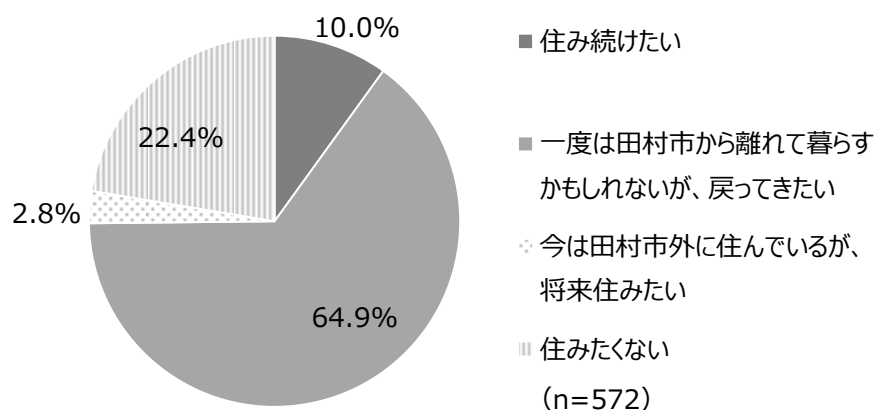
Q6. あなたは田村市が好きですか？(全員回答)

好き(「とても好き」「どちらかといえば好き」という生徒が約60%)。



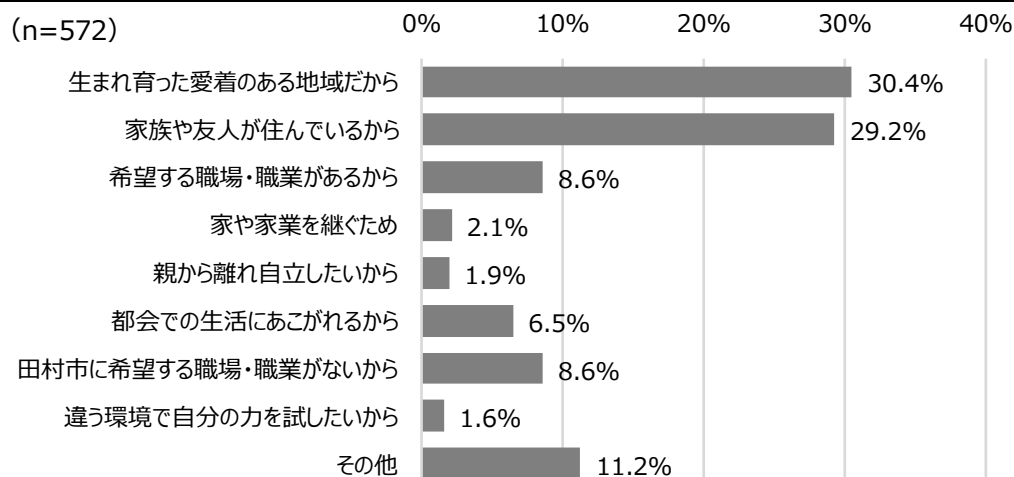
Q7. 今後、田村市に住み続けたいですか？(全員回答)

将来的に住み続けたい(「住み続けたい」「一度は田村市から離れて暮らすかもしれないが、戻ってきたい」という生徒が約75%)。



Q8. 問7の答えの理由は？(全員回答)

「生まれ育った愛着のある地域だから」「家族や友人が住んでいるから」の回答が多い。



豊かな自然の活用や、商業施設・利便施設・遊び場などをつくるなど、活気を増やすアイデアが多く寄せられた。



ごみ拾いなどのボランティア活動、イベントや交流の機会の創出、PR など、地域貢献に関するチャレンジが多く寄せられた。



13

